

令和 4 年 度
公益財団法人大田区産業振興協会
事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

令和4年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

令和4年度 総括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業（定款第4条(1)関係）	2
2 区内中小企業の経営支援に関する事業（定款第4条(2)関係）	4
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業（定款第4条(3)関係）	10
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業（定款第4条(4)関係）	18
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業（定款第4条(5)関係）	21
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業（定款第4条(6)関係）	26
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から 受託する事業（定款第4条(7)関係）	29
令和4年度 産業プラザ施設利用状況<別表A>	30
施設利用収入状況<別表B>	31
理事会・評議員会	33
協会組織強化	34
研修	34

令和4年度総括

令和4年度は、コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻等に起因する半導体の不足、急激な円安、世界的なインフレ加速など、日本経済がかつてない危機を経験する中、区内産業は高止まりする燃料・電気代に加え、原材料の高騰や資材不足による強い下押し圧力を受けながらも、持ち直しの動きを続けてきました。

このような状況下、（公財）大田区産業振興協会は、蒲田 Pi0、羽田 Pi0 そしてデジタル Pi0 の3本柱の基に産業者への様ざまな支援を展開してまいりました。

蒲田 Pi0 は、大田区産業プラザ1階に Pi0 フロントを設置。創業を始め各種ビジネスに関する相談に応じ、最適な支援につなげる「産業の掛かりつけ医」として多くのご利用をいただきました。また、大展示ホールは特定天井改修工事を終え、本年4月から利用を再開しております。

羽田 Pi0 では、職員の創意工夫による「超専門技術ミニ展示会」を3回開催。業界や専門家に多くお越しいたごき、参加企業のビジネスチャンス拡大に寄与しました。

そして、デジタル Pi0 は、時と場所を選ばず、出会い・つながり・交流する新しい形の Pi0 として運用。すでにメンバー登録が1,300件を超えております。

このほか、協会の短期計画である「産業ロケットアクション 500DAYS」の策定、協会オリジナル「令和5年度 当初予算プレス」を YouTube 動画付で発表するなど、組織一丸となって、アフターコロナを見据えた産業者支援への土台づくりを行ってまいりました。

令和5年度は、物価上昇と海外景気悪化という強い逆風に、不透明な金利動向などの懸念材料が加わる中で、景気の腰折れを回避し経済活動の正常化と着実な成長に挑戦する年となります。

（公財）大田区産業振興協会は、世界情勢や社会状況の変化を的確に捉え、より一層のシームレスな支援を続けていくとともに、これらを実行する職員一人ひとりのポテンシャルを高めることで、大田区のすべての「産業者の応援団」として、皆様の期待に応えてまいります。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条（1）関係】

【重点取り組み事項】

- ・年6回、奇数月、産業情報誌「テクノプラザ」を発行し、区内約4,000の製造事業者配布。取引拡大や人材確保等の先行事例、支援事業等、大田区企業に必要な情報をタイムリーに発信し、経営力の向上を図った。
- ・区内産業のプロモーションとして大田区「優工場」認定企業や「大田のお土産100選」表彰商品・製品を、パンフレット・ホームページ等を通じて広く周知し、区内企業の優位性や区内商品・製品の魅力を区内外に発信した。

① 大田区産業振興普及事業

【予算額 424,000円（うち区補助）424,000円】

【決算額 386,537円（うち区補助）386,537円】

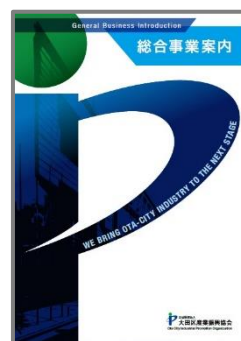
（ア）総合事業案内冊子の配布

協会窓口等で随時配布。

（イ）大田区工業ガイドWeb版の紹介（日本語版・英語版）

（ウ）視察対応

国内	106 団体	619 人
海外	12 団体	106 人



【総合事業案内】

② 大田区ブランド発信事業

【予算額 0円】

【決算額 0円】

協会Webサイトにおいて、区内中小企業等のブランド力維持・向上に資する先進的な取り組みを特集する記事や、協会事業の効果的な活用事例の紹介等を発信した。

4月	（一社）デジタル田園都市国家構想応援団主催「頑張る自治体へのイノベーション提案&交流会」
6月	受・発注あっせん相談サービス「大田区の技が光る最終製品への取り組み」
7月	協会事業活用術！仲間とおおた商い・観光展2021に参加！展示会に共同出展！
	ひと味違う新しい助成金のカタチ「ユナイト助成事業とは」スタートアップ企業と大田区企業を結びつけます
令和5年 1月	特集 新春座談会「大田区製造業のDX化に向けた取り組み」
3月	助成金から人材確保まで～協会事業の活用術～

③ 産業情報誌の発行

【予算額 4,701,000円（うち区補助）4,701,000円】

【決算額 3,730,857円（うち区補助）3,730,857円】

区内製造業向けに支援策の概要を周知するために、隔月（奇数月）発行。

「テクノプラザ」	A4判 各号4,200部
年6回発行（5・7・9・11・1・3月号）	



【テクノプラザ】

④ 産業情報受発信事業

【予算額 4,556,000円（うち区補助）4,256,000円】

【決算額 4,186,778円（うち区補助）3,976,778円】

（ア）産業情報の収集と提供

- ・産業関連情報誌の購入：116冊 ・寄贈：209冊 ・新聞購入：4紙

（イ）区内中小企業の情報発信

- ・区内中小事業者（大田区「優工場」認定企業、「大田のお土産100選」表彰製品・商品等）を、ホームページ等を通じて広く周知した。

（ウ）協会ホームページによる情報発信

- ・随時発信 (<https://www.pio-ota.jp/>)
- ・年間アクセス件数：713,998件
- ・年間閲覧ページ数（PV）：3,314,515件
- ※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は、サブサイト「大田区産業プラザ（貸館予約）」、「大田区ものづくり 研究開発マッチングシステム(mirai)」、「おしごとナビ大田区」の件数を含まない。



【協会ホームページ】

（エ）プレスリリース配信サービスの活用

- ・プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を活用し、12回の発信を行った。

⑤ 調査・研究事業

【予算額 0円（うち区補助）0円】

【決算額 0円（うち区補助）0円】

【重点取組み事項】

- ・令和4年4月から、大田区産業プラザ1階入口において「Pi0 フロント」を設置した。ここでは、館内の各支援機関窓口への橋渡しをはじめとする総合相談窓口機能を有するとともに、協会事業であるデザイン相談（Pi0 デザイン工房）、ビジネス相談（専門家派遣）及び創業相談（創業相談窓口）の受付窓口を集約させて、産業プラザ全体の利便性を高めた（Pi0 フロント利用者計 3,291 人）。
- ・創業者支援事業では、創業期におけるさまざまな課題解決に向け、スキルアップを目指して積極的な取組みを行った。一昨年度から始まったベンチャーピッチ in 羽田は、3回目で初めて羽田イノベーションシティ内 Pi0 PARK でリアルに開催を行い、スタートアップ支援の拠点としての HANEDA×Pi0 の認知度向上につながった。
- ・「創業相談窓口」
窓口での相談件数は延べ 805 回と、昨年度（延べ 575 回）に比べ約 1.4 倍と大幅に増加し、継続的な相談や国の特定支援事業を案内するなど、区内創業を促進した。
- ・「ものづくり創業スクール」（創業体験ワークショップ）
ビジネスプランを形にする体験ワークショップを開催、延べ 46 人が参加。
事業計画書の作成について基礎セミナーと演習を行うことで、参加者にとってよりリアルな、今後の起業につながる場となった。
- ・「スタートアップ試作支援」（創業セミナー及びベンチャーピッチ in 羽田）
創業に必要な知識である、経営や財務に関する創業セミナーを4回にわたり開催し（延べ 71 人が参加）、区内創業の促進に努めた。コーチングを経た成果発表の場となる「ベンチャーピッチ in 羽田」では、創業希望や創業間もない企業・団体から 26 件の応募があり、うち 10 件のビジネスプランをコーチングによりブラッシュアップし、パートナー企業 9 社に対してピッチを行った。会場では、質疑応答やパートナー企業からのアドバイスが活発に行われ、創業者にとって今後の成長につながる機会を創出した。
- ・「工場表彰制度」事業は、10 社を優工場に認定した。認定特典である動画、パンフレット等の各種 PR ツールについて、取引拡大のみならず人材採用にも活用できるように内容を充実させた。
- ・「大田の工匠 技術・技能継承」表彰事業では、令和3年度受賞企業に対して羽田イノベーションシティ内 Pi0 PARK にて表彰式を開催。同時に、事業の集大成として平成 29 年度から令和 3 年度の歴代受賞者による記念シンポジウムを開催し、「技術・技能継承」と「若手人材の育成・確保」の重要性を啓発する場を設けた。

① 中小企業情報化支援

【予算額 5,154,000 円（うち区補助）2,844,000 円】

【決算額 3,872,267 円（うち区補助）2,232,167 円】

ホームページ・PR ツール作成支援サービス（Pi0 デザイン工房）

利用回数 延べ 197 回 新規利用者数 21 社

② ビジネスサポートサービス

【予算額 13,739,000 円（うち区補助）13,739,000 円】

【決算額 10,416,598 円（うち区補助）10,416,598 円】

(ア) ビジネスサポート相談（専門家派遣）

区内中小企業等が抱える経営、販路開拓、技術力や生産性の向上、事業継承などの様ざまな課題に対し、解決を図るため、専門家（支援協力者）等を派遣する相談事業を実施した。

専門家派遣回数	延べ 597 回	支援協力者 登録数	116 人
---------	----------	--------------	-------

(イ) 経営サポートセミナー

実施日	テーマ等	参加者数	成果
令和4年9月2日	「SNS時代に生きる町工場の新しい顧客開拓」 実施方法：オンライン「OTA デジタル×PiO」 配信会場：PiO PARK 講師： ・ハタノ製作所 代表 波田野 哲二氏 ・株式会社松浦製作所 技術 色川 泰広氏	162 人	満足度 (アンケート) 94%
令和5年1月16日	「創業者交流会」 会場：PiO PARK 講師： ・AaaCS 合同会社（昼飯屋）代表 高瀬 明子氏 ・合同会社八鈴（八鈴堂）代表 鈴木 智香氏	10 人	満足度 (アンケート) 100%

(ウ) 各種許認可等取得支援助成金

許認可等の種類	助成金交付企業数
・エコアクション21（1件） ・医療機器製造業登録（2件） ・プライバシーマーク（2件） ・ISO27001（1件）	6社（6件）

(エ) PiO フロント

(a) PiO フロントにおける相談等実績

内容	利用者数（延べ）
創業相談（創業相談窓口）	665 人
ビジネスアイデア相談	44 人
ビジネス相談（専門家派遣）	275 人
デザイン相談（PiO デザイン工房）	175 人
窓口相談	181 人
電話相談	438 人
館内案内	1,329 人
その他利用（他事業打合せ、見学等）	184 人
合計	3,291 人

(b) Pi0 フロントショーケーシング

創業相談やビジネスサポートサービス等を利用している方が、自身の事業の魅力やPR できる場とすることを目的に、Pi0 フロントショーケーシングを設置。

展示点数 (令和4年7月から)	延べ42点
--------------------	-------



【Pi0 フロント ショーケーシング】

(オ) 大田区デジタルプラットフォーム (OTA デジタル×Pi0)

内容	利用者数
メンバー登録者数	1,309人
コンテンツ発信件数 (イベント、マガジンページ)	33件



【OTA デジタル×Pi0 ホームページ】

③ 繁盛店創出事業

【予算額 18,456,000円 (うち区補助) 18,456,000円】

【決算額 13,309,281円 (うち区補助) 13,309,281円】

(ア) 個店診断・改善費用助成

小売店、飲食店及びサービス業事業者の抱える課題解決のため、専門員による経営相談及び改善提案を行ったほか、店舗の改装や宣伝広告などに要する改善費用の一部を助成した。

専門員派遣件数	うち店舗改善費用助成件数
50件	20件



【繁盛店創出事業案内】

(イ) 商業版産業情報誌の発行

商店・サービス業事業者向けの情報誌を発行し、商店街を中心に区内の店舗に配布することで、大田区産業の活性化を図った。

「あき now」発行	A4判 年2回 (各回8,000部)
------------	--------------------



【あき now】

④ 創業者支援事業

【予算額 19,901,000円 (うち区補助) 19,901,000円】

【決算額 13,753,749円 (うち区補助) 13,753,749円】

(ア) 創業相談窓口の設置

創業相談窓口相談件数	延べ805回
------------	--------

(イ) 区内創業を促進するセミナー等の実施

(a) ものづくり創業スクール（創業体験ワークショップ）

実施日	タイトル・講師等	参加者数
第1回 令和4年8月3日	創業基礎セミナー 「起業の準備から成長プロセスサイクルを描く」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏	17人
第2回 令和4年8月17日	事業計画書作成ワーク（1） 「事業計画書の作成指導と演習」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏	12人
第3回 令和4年8月24日	事業計画書作成ワーク（2） 「事業計画書のブラッシュアップ」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏 メンター：ソシオネット株式会社 山下 聖氏 エイチタス株式会社 北 周一郎氏	10人
第4回 令和4年8月31日	成果発表 「事業計画書の発表」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏 メンター：ソシオネット株式会社 山下 聖氏 エイチタス株式会社 北 周一郎氏	7人

(b) 創業セミナー

実施日	テーマ・講師	参加者数
第1回 令和4年9月7日	経営計画 「経営計画の作り方とポイント」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏	21人
第2回 令和4年9月14日	財務 「起業家に求められる財務知識とは」 講師：山崎税理士事務所 山崎 直彦氏	19人
第3回 令和4年9月21日	人材育成 「創業初期での人材・チームのあり方とは」 講師：エイチタス株式会社 原 亮氏 事例紹介者：Buddycare 株式会社 原田 和寿氏 アンデックス株式会社 三嶋 順氏	15人
第4回 令和4年9月28日	販路開拓 「販路の描き方と顧客とのエンゲージづくりについて」 講師：イー・リゾート 釘持 勝氏	16人

(c) スタートアップ試作支援（ベンチャーピッチ in 羽田）

概要	
参加者募集	令和4年10月1日～11月10日
参加者選定会	令和4年11月15日 ※応募26件から10件を選定
全体コーチング	第1回 令和4年12月7日 第2回 令和4年12月14日

個別コーチング	令和4年12月～令和5年2月の3か月間、月2回を目安に実施
ピッチイベント	令和5年2月17日 会場：Pi0 PARK ※CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）などのパートナー企業に対してピッチを実施
<p>【パートナー企業】（9社）</p> <p>株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ、ジャフコグループ株式会社、東急株式会社、東洋製罐グループホールディングス株式会社、トッパン・フォームズ株式会社、株式会社ニコン、日本航空株式会社、株式会社FUNDINNO、ヤマトホールディングス株式会社</p>	
登壇企業・団体名	ビジネスプランタイトル
株式会社ARDe	ARトレーサビリティ管理システム
株式会社Emyu	ペットの電子パスポート
株式会社GreatValue	持続可能な住民同士の助け合い事業
株式会社CyberneX	イヤホン型Brain Computer Interface(BCI)を用いた脳情報活用支援サービス
SK8INSOLL 株式会社	AI 歩行診断から100歳まで社会に貢献できる強い足腰を提供するソリューション
fabula 株式会社	大田区内企業の技術力を結集してゴミから感動をつくる
株式会社FullDive	モーションキャプチャスタジオの新規設立と、メタバース向けのリッチなモーションキャプチャについて
株式会社モノマネ	捨てるを無くし、モノの人生を変える。家庭のモノのサーキュラーエコノミー
RIDE DESIGN/ ライドデザイン	転ばない電動バイク開発PJ
LINDA PESA 株式会社	アフリカ中小ビジネス向け金融インフラの開発

(ウ) ユナイト助成

助成件数 3社（申込件数 4社）	
企業名	事業テーマ
合同会社BirthT	国内初のベルトコンベア型3Dプリンタ「LeeePRO」開発・製造
株式会社水龍堂	新型ROV（水中ドローン）フレーム試作
SK8INSOLL 株式会社	東京インソールの製造を海外から大田区内の企業へ移行

⑤ 工場表彰制度

【予算額 3,680,000 円（うち区補助）3,580,000 円】

【決算額 3,056,832 円（うち区補助）3,056,832 円】

申込企業	11 社
認定	認定 10 工場、うち表彰 3 工場
	認定工場：10 社 株式会社品川測器製作所（総合部門賞） 昭光機器工業株式会社（人に優しい部門賞） 株式会社新興化学（まちに優しい部門賞） アロニクス株式会社 協和工業株式会社 株式会社コトブキ シナノ産業株式会社 株式会社志村精機製作所 株式会社城南 日新電気株式会社
累計	288 社 実数 189 社（令和 5 年 3 月末現在）
実地調査	令和 4 年 8 月 31 日～9 月 2 日
審査会	令和 4 年 10 月 17 日
表彰	新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式を中止し、認定証等を各企業にお届け



【実地調査】



【優工場パンフレット】

・アンケート調査の実施

前年度（令和 3 年度）認定企業 8 社にアンケートを実施。認定を受けたことによる特典など、87.5%の企業が同事業に対して満足しているとの回答を得ている。

⑥ 商店（飲食店）表彰制度

【予算額 1,913,000 円（うち区補助）1,913,000 円】

【決算額 1,760,954 円（うち区補助）1,760,954 円】

広報活動	最新の店舗情報に更新した総合版いちおしグルメパンフレットを 15,000 部増刷、配布。
------	--

⑦ 大田区優秀技術者表彰事業「大田の工匠 技術・技能継承」

【予算額 2,294,000 円（うち区補助）2,294,000 円】

【決算額 2,405,268 円（うち区補助）2,405,268 円】

令和 3 年度 受賞企業表彰式 記念シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年 11 月 8 日 羽田イノベーションシティ内「PiO PARK」にて 11 社（11 組）表彰 同日に「大田区工匠 100 人」「大田の工匠 Next Generation」「大田の工匠技術・技能継承」の総決算として、橋本審査委員長をモデレーターに記念シンポジウムを開催。平成 29 年度から令和 3 年度の受賞者各 1 組（合計 5 組）が登壇
--------------------------------	---

⑧ 大田のお土産 100 選 表彰事業

【予算額 240,000 円（うち区補助） 240,000 円】

【決算額 236,554 円（うち区補助） 236,554 円】



【大田のお土産 100 選 ホームページ】

<p>展示・販売</p>	<p>① 羽田イノベーションシティ丸善雄松堂 Creadisce (クレアディスカ) で「大田のお土産 100 選」常設販売、ものづくり事業者 24 社の製品を販売</p> <p>② 令和 4 年 4 月 16 日～17 日 B.LEAGE アースフレンズ東京 Z「カマタイチバ」納品販売 8 事業者</p> <p>③ 令和 4 年 9 月 17 日～19 日 東急プラザ蒲田「大田のお土産 100 選フェア」出展販売 8 事業者、納品販売 4 事業者</p> <p>④ 令和 4 年 10 月 1 日～2 日 B.LEAGE アースフレンズ東京 Z「カマタイチバ」納品販売 3 事業者</p> <p>⑤ 令和 4 年 11 月 5 日～6 日「OTA ふれあいフェスタ」出展販売 5 事業者</p>
<p>広報活動</p>	<p>タリーズコーヒー羽田イノベーションシティ店に「大田のお土産 100 選」の製品・商品を常時紹介</p>

3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

【定款第 4 条（3）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・「受・発注商談会」は、年 1 回（2 月）参加企業 156 社（発注企業 54 社、受注企業 102 社）で開催。商談会会場では新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、区内中小企業に対し 354 の商談案件を提供した。
- ・海外取引相談では、オンラインを活用した「ミニ国際ビジネス商談会 with 台湾」を開催し、台湾企業との取引拡大を希望する区内企業が参加した。このほか、日本人駐在員等が購読する海外ビジネスサイトに、海外展開を積極的に行っている区内企業の広告記事を掲載した。さらに、リアル会場における海外情報の提供機会として、グローバルビジネス勉強会を 3 回実施し、海外情勢や国際物流に関する講演を行い、区内企業の国際化を支援した。これらの事業を通じ、海外取引を志向する企業の裾野を広げるとともに、企業間連携を深めた。
- ・商業分野の事業では、「おおた商い・観光展 2022」において、区内店舗及び観光地への周遊を促すため、スタンプラリーを実施。大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」を「諸葛亮孔明風」に制作したシンボルキャラクターの活用や、区内小学校全児童へのチラシ配布によりイベント参加者の増加を図り、参加店舗の新規顧客獲得に繋げた。
- ・羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業では、PiO PARK の運営を通じて、区内企業の取引拡大等に向けた取組を展開した。

① 受・発注相談

【予算額 46,386,000円（うち区補助）45,956,000円】

【決算額 39,788,962円（うち区補助）39,350,562円】

(ア) 相談業務（工業）

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
105件	受注	発注	コーディネーター:695件
53,497千円	18件	788件	シルバー人材委託:305件

(イ) 発注開拓（工業）

ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による主に区外の大手企業への発注開拓

訪問先	60件
活動成果	成約案件:19件 成約金額:25,808千円

(ウ) 商談会

(a) ものづくり受発注商談会

実施日		
令和5年2月10日		
第61回ものづくり受発注商談会 in 大田		
参加企業	発注・受注	商談件数
156社	54社・102社	354件



【ものづくり受発注商談会 in 大田】

(エ) 愛媛県企業×大田区企業モノづくり受発注商談会

当商談会は区内企業と愛媛県企業双方のものづくり企業の新たな取引先の開拓や受発注連携構築を深めることを目的としている。

名称	開催日・期間	商談先	参加企業数	商談件数
愛媛県企業×大田区企業 ものづくり受発注商談会	令和5年3月6日	愛媛県企業	24社	44件

(オ) 大田ものづくりプラットフォームデータベースの構築

区内中小企業受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、テスト運用を開始した。引き続きデータベースの拡充を行う。

② 海外取引相談事業

【予算額 17,318,000円（うち区補助）17,258,000円】

【決算額 7,800,377円（うち区補助）7,800,277円】

(ア) 窓口相談

(a) 相談件数

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国・台湾	145件	北米	1件
ASEAN	20件	その他	69件
欧州	25件	合計	259件

(b) 国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国・台湾	72件	北米	9件
ASEAN	10件	その他	17件
欧州	21件	合計	129件

(c) 国際取引あつせん

発注案件紹介件数	成約件数	成約金額
18件	6件	11,212千円

(イ) 海外市場開拓（商談会）

商談会名	参加企業数	成果	実施方法
ミニ国際ビジネス商談会 with 台湾 令和4年10月14日	区内企業 3社 台湾企業 6社	商談件数 9件 継続案件 2件 成約件数 1件	オンライン

(ウ) グローバルビジネス勉強会

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和4年10月4日	「スイス・欧州市場 製造業の最新動向について」 講師：ジャパンイノベーションパーク 代表 小山 勇氏	36人
令和4年12月14日	「国際物流のカラクリと最新事情（得する国際物流）」 講師：株式会社TS EXPRESS 代表 津川 信之氏	24人
令和5年2月2日	「ASEAN 地域の近況報告」 講師：日本政策金融公庫 バンコク駐在員 高木 岳史氏 「インドネシア進出のご体験談」 講師：株式会社丸秀 代表取締役 小林 隆志氏	37人

(エ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス	12件
海外企業信用調査	6件

(オ) 広告媒体の利用

(a) 英文企業ガイドの活用

Web版の英文企業ガイド「PROFILES OF COMPANIES」を活用し、オンライン見本市への出展や、海外企業・機関との打ち合わせの際に区内中小企業をPRした。区内中小企業72社を掲載中。

<https://www.manufacturers-ota-tokyo-japan.net/>



(b) e コマースの活用

海外駐在員や国際部門の担当者を主要な購読者に持つ海外ビジネス情報専門webサイト「NNA ASIA」に、協会事業の紹介と区内中小企業2社の海外進出事例を紹介した。

https://www.nna.jp/corp_contents/adplan/2020/200515_nna

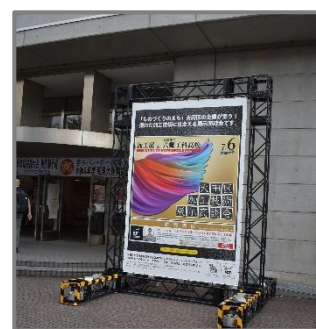


③ 大田区加工技術展示商談会

【予算額 13,881,000円（うち区補助）12,825,000円】

【決算額 13,736,913円（うち区補助）12,680,913円】

開催日	参加	来場者
令和4年7月6日	60社	1,179人
商談件数	取引成立金額	
741件	6,678千円	



【大田区加工展示商談会
at 六郷工科高校】

④ 国内見本市への出展支援

【予算額 23,055,000円（うち区補助）17,249,000円】

【決算額 11,258,277円（うち区補助）8,794,098円】

(ア) ものづくり産業PR展示会

展示会名	会期及び会場	成果
高精度・難加工技術展 2022	令和4年10月19日～21日 東京ビッグサイト	相談件数 261件 成約件数 3件
第13回試作市場	令和5年2月21日～22日 東京都立産業貿易センター 浜松町館	相談件数 98件 成約件数 1件

(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 6社

展示会名	会期及び会場	成果
ライフスタイル Week 春	令和4年4月6日～8日 東京ビッグサイト	相談件数 13件 継続案件 1件 成約件数 1件 成約金額 100千円
第27回 機械要素技術展	令和4年6月22日～6月24日 東京ビッグサイト	相談件数 2件 継続案件 1件 成約件数 1件 成約金額 120千円
第40回 モータ技術展	令和4年7月20日～22日 東京ビッグサイト	相談件数 5件 継続案件 5件 成約件数 1件 成約金額 1円
第14回 ホテル・レストラン・ショー&FOODEX JAPAN in 関西 2022	令和4年7月27日～29日 インテックス大阪	相談件数 74件 継続案件 30件 成約件数 1件 成約金額 1円
草刈り・除草ワールド2022	令和4年10月26日～28日 東京ビッグサイト	相談件数 6件 継続案件 5件 成約件数 1件 成約金額 1円
高機能素材week 2022	令和4年12月7日～9日 幕張メッセ	相談件数 10件 継続案件 10件 成約件数 1件 成約金額 1円

※成約件数及び成約金額については3月末時点。

⑤ 海外見本市への出展支援

【予算額 9,851,000円（うち区補助）9,851,000円】

【補正後予算額 1,851,000円（うち区補助）1,851,000円】

【決算額 1,045,000円（うち区補助）1,045,000円】

(ア) 共同出展（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出展形態を変更）

展示会名、会期及び会場	出展形式	成 果	参加企業
FBC アセアン 2022 ものづくり商談会 (タイ・ベトナム) リアル出展：令和4年8月24日～26日 オンライン出展：令和4年9月7日～9日	リアル出展 (協同行せず) オンライン出展	商談件数 31件 継続案件 6件 成約件数 一件	共同出展
Meet Taipei 2022 (台湾) 令和4年11月17日～19日	オンライン出展	商談件数 3件 継続案件 1件 成約件数 一件	協会 単独出展

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【予算額 28,252,000円（うち区補助）23,932,000円】

【決算額 27,865,362円（うち区補助）25,115,362円】

(ア) 「おおた商い・観光展 2022」

あきない三國志プロジェクト ～いざ、おでかけ！～




【おおた商い・観光展案内】

会 期	参加事業者数	来場者数
令和4年11月3日～ 12月4日	174事業者 (社・団体、観光施設・銭湯)	<ul style="list-style-type: none"> 公式 HP アクセス数：63,479 Twitter 閲覧数：213,357 Instagram 閲覧数：8,587 Facebook 閲覧数：11,614 QRコード読み取り総数：27,076 ※抽選応募数：2,001
概 要	目的・内容	<p>『大田区の街全体を一つの会場』に見立て、昨年度に続き「三國志」をモチーフにしたスタンプラリー等の回遊企画、地域イベントとの連携により、区内の実店舗や観光スポットへ直接誘客を図る形式で実施した。</p> <p>また、特設 Web サイトには、店舗・観光スポットの情報発信に加え、今後の E コマースに取り組むきっかけづくりとなる仕掛けを取り入れていくなど、商いと観光の融合を図りながら区内産業の振興と地域の活性化を目指した。</p>
	集客拡大を図る工夫	<ul style="list-style-type: none"> シンボルキャラクター 大田区公式 PR キャラクター「はねびよん」を諸葛亮孔明風にデザイン。広告物のシンボルキャラクターとして制作し、販促品や抽選賞品としても活用した。 QRコードスタンプラリーの方法を改正 10か所巡る周遊型スタンプ（通常スタンプ）と、商品・サービス購入型スタンプ（特別スタンプ）の2種類を用意した。 家族での参加促進 開催案内チラシを区内小学校全児童に配布してファミリーでの参加を呼び掛けた。 Pi0 フロントでの案内 大田区産業プラザ1階の「Pi0 フロント」では、開催期間中、参加店舗商品のショーケーシングにより Pi0 来館者へのイベント周知を図った。 各 SNS で、情報ごとに『#タグ』を活用し、イベント等をリアルタイム投稿した。

連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・はねびょん健康ポイント、日本工学院専門学校との連携 「はねびょん健康ポイント」のアプリ上に「おおた商い・観光展」の限定デジタルスタンプスポットを40か所設置し、この内10か所には日本工学院専門学校がオリジナルに作成した三國志関連キャラクターを配した。 ・大田観光協会のレトロスタンプラリー 蒲田から羽田にかけて9か所のスポットを巡りながら、版画スタンプでオリジナルのトートバッグを作成するスタンプラリーを実施した。 ・大田浴場連合会との連携 区内銭湯の無料入浴体験券を参加店舗で来店客に配布した。
--------	---

(イ) Meet New Solution in OTA ～NEXT おおた工業フェア～

会 期	参加事業者数	来場者数
リアル 令和5年2月1日～3日 オンライン 令和5年3月17日～31日 	23社(団体)	リアル 40,170名 ※併催展来場者含む オンライン 3,527名
概 要	従前の「おおた工業フェア」で培ってきた区内産業者の総合力や大田区製造業のブランド力を活かし、「社会的課題の解決」をキーワードに、「おおた工業フェア」の発展形として開催。	

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【予算額 9,257,000円(うち区補助)7,742,000円】



【決算額 8,402,556円(うち区補助)6,969,147円】

(ア) 相談業務(商業)


専門相談員(あきない活性化コーディネーター)による区内商い関連事業者への訪問調査

訪問件数	延べ437件
------	--------

(イ) 商業展示会の共同出展

展示会名	実施日・会場	参加企業	成果
東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022 LIFE×DESIGN	令和4年9月7日～9日 東京ビッグサイト 	8社	商談件数：172件
スーパーマーケット・トレードショー2023	令和5年2月15日～17日 幕張メッセ 	4社	商談件数：178件

(ウ) フード展示商談会

実施日	内 容
令和4年9月27日	商談会事前セミナー 会場:大田区産業プラザ3階 特別会議室 講師:株式会社五味商店 代表 寺谷 健治氏 参加者:12人 
令和4年10月31日	第6回フード展示商談会 in 大田 ・出展者(売り手側) 19社(区内17社、区外2社) ・来場者(買い手側) 55人(区内15人、区外40人) 会場:大田区産業プラザ 4階コンベンションホール 商談件数:65件

(エ) 商業者向けセミナー

実施日	内容	参加者
令和5年3月17日 ～31日	テー マ:アフターコロナにおける経営のヒント 実施方法:オンライン配信 講 師:あきない活性化コーディネーター 粕谷 智和氏、奥井 浩氏	23人

⑧ 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業

【予算額 30,360,000円(うち区補助)26,464,000円】

【決算額 26,513,467円(うち区補助)18,558,212円】



【HANEDA×PiO 外観】

HANEDA×PiO内の交流空間「PiO PARK(ピオパーク)」にてイベント、コワーキング及びショーケースの機能を果たすことにより、利用者と区内中小企業との交流による付加価値の創出を図った。

また、活性化に向けてEメールやチラシ配布、関係先訪問などプッシュ型の周知を積極的に行ったほか、自主開催のイベントを実施した。



【イベントスペース】

(ア) イベント

イベント件数	202件	来場者総数	13,149人(オンライン参加3,047人を含む) ※PiO PARKにおける主催イベント及び誘致イベントの合計
--------	------	-------	---

【協会主催イベント(抜粋)】
・超専門技術ミニ展示会 (1)「穴あけ展」(2)「理想の仕上がり展」(3)「やわらかたい展」 ・HANEDA 共創プラットフォーム (1) グローバルビジネス勉強会 (2) ベンチャーフレンドリー塾

- (3) 自社商品のつくりかた勉強会 (4) グリーンエネルギーセミナー
- ・SNS時代に生きる町工場の新しい顧客開拓セミナー
- ・ドイツ・ノイス郡 交流イベント
- ・おおた研究・開発フェア ～産学連携・新技術展～の研究開発特別講演等の関連イベント
- ・「大田の工匠 技術・技能継承」表彰式・シンポジウム
- ・ミートアップイベント OTA デジタル×PiO × Digibata
- ・STARTUP FES. in OOF '22
- ・創業者交流会
- ・令和4年度 大田区医工連携勉強会
- ・ベンチャーピッチ in 羽田 2022
- ・東京工業大学技術交流セミナー
- ・Tonomachi Café
- ・川崎市・大田区連携シンポジウム

(イ) コワーキング

内容	利用者数
月額プラン契約件数	14 件
1 日フリープラン	9 人
時間利用	41 人
無料体験者数	221 人
視察者数 (海外関係機関視察者 106 人/12 件含む)	719 人
ゲスト来訪者数 (ショーケーシング その他)	6,292 人
総来訪者数 (イベントの来訪者 10,102 人含む)	20,538 人



【コワーキングスペース】

(ウ) ショーケーシング

PiO PARK 内で、コリドーに面して外部からの視認性の高いエリア (約 200 m²) をショーケーシングエリアと位置づけ、大田区企業の技術力等の発信のため常設展示に加え企画展示を実施した。

期 間	内 容
令和4年2月1日～ 5月31日	「OTA! FOUNDERS' PRODUCTS ～区内創業者による製品展示～」
令和4年4月21日～ 6月3日	「東京都中小企業振興公社支援企業の製品展示」
令和4年7月9日～ 8月5日	「きらぼしイチ押し! “きらりと光る” 大田区内企業の製品!!」
令和4年9月9日～ 11月5日	「宇宙産業で活躍する大田区企業等の技術」
令和4年11月8日～ 令和5年1月31日	「大田の工匠 技術・技能継承展」
令和5年2月21日～ 4月20日	「第34回 新製品・新技術コンクール 受賞製品・技術展」

【重点取り組み事項】

- ・おしごとナビ大田区では、ユーザーの視点を重視したサイトづくりを進め、求職者の利用を促進するとともに、求人企業の採用活動を後押しした。
- ・若手人材の採用意欲がある区内中小企業のニーズに応えるため、大学等との連携により、オンライン合同企業説明会を開催した。採用力アップの事前セミナーの開催で、学生への訴求力を高めるとともに、当日は各企業による事前説明を実施した上で、より多くの説明を受けられるよう説明会を3社ずつのローテーションにするなど運営の工夫を図り、2名の採用に至った。
- ・+WORK（内職あっせん・相談）事業では、オンラインによる申込みや関連情報のデータベース化などのデジタル化を進めた。求職者に対し、求人企業のニーズを意識したきめ細かいヒアリングを実施することでマッチング率を高め、採用につなげた。また、付加価値があり単価の高い内職作業を発注する企業について、重点的に受注開拓を行うなど、受注額の確保に取り組んだ。

① おしごとナビ大田区

【予算額 1,890,000円（うち区補助）49,000円】

【決算額 1,833,458円（うち区補助）△59,026円】

(ア) 求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	125社
新規登録企業社数	32社

(イ) 民間広告媒体を活用したPRの実施

令和4年10月1日から12月31日まで「東急大井町線」100車両分のドアガラス面にステッカー広告を貼付。

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【予算額 999,000円（うち区補助）889,000円】

【決算額 773,703円（うち区補助）723,703円】

(ア) 都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校(高専)の教授陣と施設を活用し、中小企業の若手技術者育成を目的として実施した。基礎講座は通学型の講座として品川区と共同で実施。出前講座は大田区企業への出張型講座として実施した。

講座科目別実績

	科目	単位 2時間/1回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)	
基礎講座 (大田区・品川区)	機 械	機械設計のための基礎	15回	令和4年9月1日 ～10月17日	10(2)人
		材料加工の基礎	6回	令和4年10月20日 ～11月7日	7(3)人
		デジタルマニュファク チャリング体験講座	6回	令和4年11月9日 ～11月28日	6(3)人
	電 気	電気回路の基礎	8回	令和4年9月28日 ～10月21日	8(5)人
		シーケンス制御の基礎	10回	令和4年11月8日 ～12月8日	8(5)人
出前講座 (大田区)	材料加工の基礎 (株式会社東新製作所)	1回	令和4年7月27日	8人	
	電気回路の基礎 株式会社コムワース	4回	令和4年8月22日 ～8月29日	4人	

(イ) おおた少年少女発明クラブの支援

小中学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を行うおおた少年少女発明クラブ
(事務局：NPO 法人大田教育支援の会) に対し助成を行った。

内 容	詳 細	活動日数	参加人数
定期活動	期間：令和4年4月～令和5年3月（毎月1～2回） 会場：大田区池上会館（科学室） ・「ホバークラフト」製作及び競技会 ・「プチロボ」製作 ・「マルメロちゃん」製作 ・「電気回路基礎」（LED、スイッチの取り付け） ・「ピカピカツリー」製作及び発表会 ・「キュートロボ」製作及び発表会	20日	会員数 25人 延べ参加者 (386人)
臨時活動	令和4年8月19日 「大田区少年少女チャレンジ創造コンテスト大会」 令和4年11月15日 「さわやかビジネスフェア展示発表」 令和5年1月14日 「ものづくり教育・学習フォーラム」参加 令和5年3月17日～19日 「こらぼ de アート作品展示」	6日	/

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【予算額 1,963,000円（うち区補助）1,963,000円】

【決算額 2,469,418円（うち区補助）2,469,418円】

(ア) オンライン合同企業説明会の開催

大学などの教育機関と連携し、オンライン上で合同企業説明会を開催。若手求職者の就職活動の支援及び区内中小企業の人材確保の支援を行った。

実施日	参加企業数	参加大学等	参加者	各社入室数 (延べ人数)	成果
令和4年9月13日	12社	11校	25人	67人	1人 (採用)
令和5年2月22日	20社	9校	13人	40人	1人 (採用)

④ +WORK (内職あっせん・相談) 事業

【予算額 3,331,000円 (うち区補助) 3,331,000円】

【決算額 3,858,168円 (うち区補助) 3,858,168円】

(ア) あっせん相談

(a) あっせん・相談状況

求職 新規登録人数	求人		あっせん		採用 人数	問合せ件数
	企業数	人数	企業数	人数		
284人	128件	225人	219件	262人	180人	1,331件

(b) 出張相談会 6回開催

(イ) 求人開拓

求人企業への企業訪問	22件
------------	-----

(ウ) 普及啓発用印刷物の作成

項目	内容	枚数等
内職求人開拓用 印刷物の作成・配布	蒲田・大森・雪谷法人会会報封入	5,500枚
	区内製造業686社投函	1回
内職求職者用 印刷物の作成・配布	区内図書館(17か所)、特別出張所(16か所)、地域庁舎地域健康課(4か所)、大田文化の森にチラシ設置及びポスター掲示	約1,000枚
	大田区子育て支援課(区内児童館57か所を含む)、保育サービス課、子ども家庭支援センター(キッズな4か所)にチラシ設置	約500枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置	約120枚
	大田区シルバー人材センター・大田区いきいき仕事ステーション・大田区生活再建就労サポートセンターJOBOTAにチラシ設置	約500枚

【重点取組み事項】

- ・トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成は、採択テーマが航空・医療・福祉など多岐にわたり、開発内容はより高度化している。採択企業は、コロナ禍の影響はあったものの、概ね計画通りに開発を進め、本事業を通じて、次世代産業分野を見据えた新製品・新技術開発の促進につながった。
- ・新製品・新技術コンクールは、有望なアイデア9件を選出した。最優秀賞は「独立電源式大型動物の自動給餌装置」。太陽光発電の電力で稼働することで、飼育員の負担軽減、安全確保する。また、特別賞として「イヤホン型 Brain Computer Interface 技術 “Ear Brain Interface”」には、「おおたスタートアップ応援賞」を進呈した。リラクゼーション施術の効果を可視化し、自分に合ったリラクゼーションの探索・実感できる製品である。
- ・次世代産業創造・産業クラスター形成事業の、「おおた研究・開発フェア」では、3年ぶりにリアル開催を実施した。また、展示会への出展、各種セミナーの開催、大手企業（技術研究所）と連携したオープンイノベーション（出張展示会）、個別マッチングなど、大田区企業の次世代産業参入やイノベーション創出を後押しする事業を予定通り行い、大田区企業に次世代産業参入やイノベーション創出を後押しした。

① 新製品・新技術開発支援事業

【予算額 76,546,000円（うち区補助）76,546,000円】

【決算額 72,221,804円（うち区補助）72,221,804円】

(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成



トライアル助成	助成 1社（申込件数 2社）
企業名	事業テーマ
東洋鍛工株式会社	航空機部品市場に於ける型打ち鍛造品の需要調査
開発ステップアップ助成	助成 6社（申込件数 20社）
企業名	事業テーマ
新日本油脂工業株式会社	生分解性オイルを用いた潤滑油の試作品開発
テック大洋工業株式会社	環境に優しいワックス型高機能性ポリアニリン防錆塗料の開発
精発ばね工業株式会社	材料板厚 0.1mm の高精度加工(±0.05mm)による新たな自動車ヘッドランプシェードの開発
山王鉄工株式会社	IOT センサを使った金属スリット用状態保全システムの開発
株式会社 CyberneX	イヤホン型 Brain Computer Interface (BCI) の開発
ケーディークロート株式会社	ブロック単位で構成変更可能な Bluetooth シリンジポンプの開発


実用化製品化助成	助成9社（申込件数 12社）
企業名	事業テーマ
イービーエム株式会社	透析手技訓練用動脈シミュレータの開発
株式会社プライオリティ	既存の円盤型磁気研磨機から加工斑の発生しないひょうたん型ランダム起動の磁気研磨機新製品開発
株式会社ユタカ	半導体製造用 BSGS 用圧力調整器の開発
株式会社岩間工業所	オペレーションレス切削加工機の製品化
株式会社 OUTSENSE	多種多様な立体形状の壁面製造技術の実用化開発
株式会社エース	拡大する農地面積に対応する高効率播種機の開発
有限会社エムティプレジジョン	超高速 高精度 建築限界測定器の開発
トキコーポレーション株式会社	自在配光スポットライトシステムの製品化
株式会社ハッピーリス	多項目同時生体計測計の開発



(イ) 新製品・新技術コンクール

【新製品・新技術コンクール
第34回パンフレット】

新製品・新技術コンクール		表彰 9件（申込件数 15件）
賞名	受賞企業及び製品・技術名	
最優秀賞	テック大洋工業株式会社 「独立電源式大型動物の自動給餌装置」	
優秀賞	株式会社 OUTSENSE 「サーフェス形状探索システム「ORIFACE」」	

	株式会社ゲーテンバルク 「超高速 FFF 式 3D プリンター「G-ZERO」」	
おおた スタートアップ 応援賞	株式会社 CyberneX イヤホン型 Brain Computer Interface 技術 “Ear Brain Interface” の開発	
おおたネット ワーク賞	日本電波株式会社 電波時計レピータ NAR-40P/NAR-40C	
おおた ECO推進賞	デザインアンドイノベーション株式会社 薄さ 0.04mm の炭素繊維一方向性シート材「AI フィルム」	
おおた 秀逸技能賞	有限会社大野精機 クーラント噴射装置「クールミスター」	
奨励賞	株式会社灌口製作所 屋内外対応 人流把握 カメラカウンターシステム	
	関西電子株式会社 廃 PET ボトルの新たな活用法「ボトリウム・ナノファイバー」	

② 産学連携研究開発支援事業

【予 算 額 2,763,000 円（うち区補助）0 円】

【補正後予算額 263,000 円（うち区補助）0 円】

【決 算 額 165,621 円（うち区補助）0 円】


令和 4 年 4 月末、産学連携研究開発支援施設（オオタイノベーション・ラボ）を区に返還。

③ 次世代産業創造・産業クラスター形成

【予算額 61,085,000 円（うち区補助）56,861,000 円】

【決算額 51,214,893 円（うち区補助）46,845,093 円】

（ア）区内の研究開発型企业に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
研究開発マッチングシステム「mirai」	研究開発型の区内中小企業を Web サイト上で紹介。大学等研究機関や企業の研究開発者からの共同研究や実験用機材等の製作・加工、試作品製作等のニーズと大田区中小企業とのマッチングを促進	154 社
大田区研究開発型企业ガイド	研究開発マッチングシステム登録企業の情報を掲載した冊子を作成。全国の大学、研究機関、企業へ送付及び各種展示会等で配布  【大田区研究開発型企业ガイド】	2,500 部
大学や企業研究機関からの技術相談	Web サイトからの問い合わせ案件数	協会宛 21 件 企業宛 21 件
展示会への出展	研究・技術開発者向けに対する会員企業 P R	4 展示会
研究開発マッチングシステム登録会員企業への情報発信	会員企業に対し、区内外のセミナーやイベント、助成金、マッチング事業など、技術革新や事業拡大、新事業参入等に役立つ情報をモノマッチニュースで配信	25 回
ニューズレターの配信	区内外企業、大学、研究機関等の登録者へ協会事業や各種産学連携等に関する情報を Future innovation OTA ニュースで発信	25 回

（イ）産学交流相談

次世代産業創造コーディネーターによる相談業務の実施

項目	相談件数
産学交流相談	464 件

（ウ）オープンイノベーションマッチング

開催日	内容	参加者数 (区内企業)
令和5年3月9日	大手企業（技術研究所）への出張展示会の実施	60人 (15人)

(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催

(a) 次世代産業創造・産業クラスター形成セミナー/ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和5年 1月17日	大田区医工連携勉強会「～とっておきの情報教えます！実践編～」 講師：有限会社岸本工業 専務取締役 須藤 祐子氏、株式会社松浦製作所 代表取締役 松浦 貴之氏、アルフレッサ株式会社 大田支店 支店 高嶋 誠次氏、社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 理事 事務局 板谷 匠氏	52人 (32人)
令和5年 2月8日	「東北大学セミナー 企業連携による新たな挑戦！」 講師：東北大学 共創戦略センター 特任教授・企画調整役 山田 健一氏	15人 (10人)
令和5年 2月21日	「大田区レアアース泥開発推進セミナー『南鳥島レアアース泥の開発が日本を復活させる』」 講師：東京大学 大学院工学研究科 副研究科長 教授 加藤 泰浩氏	43人 (19人)
令和5年 3月8日	「大田区レアアース泥開発推進セミナー『レアアースの魅力：素材からの視点、アカデミアからの視点』」 講師：青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科 教授 長谷川 美貴氏	39人 (20人)
令和5年 3月14日	第108回東工大技術交流セミナー『ドローンに代わる新しい空間移動ロボット“網状索道自走ロボット”の開発について』 講師：東京工業大学 工学院 機械系 准教授 菅原 雄介氏	29人 (25人)
令和5年 3月23日	「いよいよ始まるデジタル仲間まわしの時代『大田区企業の実演を交えて』」 講師：三菱重工業株式会社 エナジードメイン エナジートランジション&パワー事業本部 GTCC 事業部 AM 事業室 主幹技師 工学博士 今野 晋也氏	23人 (12人)

(b) 意匠デザイン・ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和4年 8月1日～ 9月30日	デザイン思考で始めるものづくりワークショップ（計4回） 講師：東京工科大学 デザイン学部 教授 本郷 信二氏他	各20人 (4人)
令和4年 12月21日 令和5年 2月15日	デザイン思考で始めるものづくりワークショップ 試作検討会（計2回） 講師：東京工科大学 デザイン学部 教授 本郷 信二氏他	各7人 (2人)
令和5年 3月29日	「デザインセミナー『売れる商品づくりって何？』～自社商品開発、何かから始めていいのかわかりません～」 講師：Pit-A-Pat 代表 大井 雅人氏	19人 (15人)

(オ) おおた研究・開発フェア

実施事業及び開催日	出展者数、商談件数等
第12回 おおた研究・開発フェア 令和4年 10月20日、21日	出展者数：94社・団体 登録者数：1,323人 商談件数：4,819件 (うち、可能性の高い商談件数 690件)



特別講演① 令和4年10月20日	テーマ：メタバースが実現する未来 講師：クラスター株式会社 代表取締役 CEO 加藤 直人氏 会場：PiO PARK 受講者数：65人
特別講演② 令和4年10月21日	テーマ：粉末プロセスを基盤としたデジタル遠隔製造ネットワークの開発 講師：三菱重工業株式会社 エナジードメイン エナジートランジション&パワー事業本部 GTCC 事業部 AM 事業室 主幹技師 工学博士 今野 晋也氏 会場：PiO PARK 受講者数：62人

(カ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成果
メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ2022	令和4年6月2日～4日 パシフィコ横浜	相談件数 24件 可能性高 8件
Japan Robot Week 2022	令和4年10月19日～21日 東京ビッグサイト	相談件数 47件 可能性高 6件
第1回 港区オープンイノベーションフェア	令和4年10月26日 港区立産業振興センター	相談件数 23件 可能性高 2件
第9回 町工場見本市 2023	令和5年2月16日～17日 東京国際フォーラム	相談件数 41件 可能性高 18件

6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

【定款第4条(6)関係】

【重点取り組み事項】

- ・新型コロナウイルスによる行動制限の解除や経済活動が再開する中、会員の余暇活動の充実に向け、入浴券、映画券のバリュープライス企画や、夏休み宿泊補助にキャンペーン補助の上乗せ等を実施するとともに、各種サービスの利用ニーズ増大に対応した。
- ・祝品（継続会員、入学）のクオカードについて、電子申請・給付を導入し、サービスのデジタル化による会員の利便性向上を図った。
- ・区内での消費を促すことに加え、区内の魅力を知っていただくため、大田のお土産100選表彰店や、HICity内飲食店・施設の他、パン・ベーカリー店、デザート・スイーツ店等の区内店舗で使用できるクーポン券を発行した。

① 加入促進事業

【予算額 12,737,000円（うち区補助）4,992,000円】

【決算額 9,633,882円（うち区補助）4,592,025円】

(ア) 勤労者共済事業の周知

大田区勤労者共済会報「ふれあい」を全8頁フルカラーで発行した。

発行回数	発行部数
年10回	各号4,400部



【ふれあい】

(イ) 会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用した加入促進員による個別訪問を継続実施

共済会員入会推移	令和2年3月末 (令和元年度)	令和3年3月末 (令和2年度)	令和4年3月末 (令和3年度)	令和5年3月末 (令和4年度)
事業所(社) (前年度対比)	1,529 (-52)	1,451 (-78)	1,379 (-72)	1,336 (-43)
会員(人) (前年度対比)	4,410 (-47)	4,255 (-155)	4,054 (-201)	3,966 (-88)

※令和5年3月31日時点での数字であり、退会の届出の事情により、年度を遡って会員数等が変動する場合がある。

② 福利厚生事業

【予算額(自主) 30,660,000円】

【補正後予算額(自主) 45,760,000円】

【決算額(自主) 42,595,244円】



【大田区勤労共済 ホームページ】

(ア) 健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用助成を行った。

人間ドック・ミニドック	利用補助	42件
インフルエンザ予防接種	〃	231件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,301セット
区営プール利用券	〃	614枚
区営スポーツセンター	〃	12セット

(イ) レクリエーション事業

バスツアーの利用あっせん・補助の実施。

バスツアー補助	15枚
---------	-----

(ウ) 宿泊補助と生涯学習利用に関する補助

ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し合計6泊まで1泊につき2,000円(7・8月はキャンペーン実施のため1泊4,000円)の補助を実施。

ライフサポート倶楽部宿泊補助	320件
----------------	------

(エ) 契約施設等の利用

他区6つの勤労者サービスセンターと共同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助券並びに割引券を配布したほか、会員に好評であった「いちおしグルメ表彰店舗」で利用できる割引券やゴルフ、文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。また、会員証呈示で特典が受けられる指定店を増やした。

レジャー施設等	1,592 枚	潮干狩り	22 枚
東京ディズニーリゾート	1,269 枚	ホテル食事券補助	158 枚
大田のお土産 100 選他	4,071 件	HICity 補助	926 枚
釣り船	30 枚	天然温泉平和島	104 枚
ゴルフ場	29 枚	文化振興協会	11 枚
大田市場見学	19 件	銭湯補助企画	2,325 枚

(オ) 各種チケットの割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、サッカーJリーグ、大相撲のチケットをあっせんした。

映画鑑賞チケット	4,972 枚	大相撲観戦チケット	40 枚
スパ等	639 枚	スポーツ観戦チケット	39 枚
東京ドームシティ 得10 チケット	254 枚	美術展チケット	501 枚
プリペイドカード	2,290 枚	東武動物公園 法人アトラクションパスセット	312 枚
食事券（施設利用購入分）	1,178 件	おふろの王様	280 枚
鑑賞券（演劇・音楽等）	515 枚		

③ 給付事業

【予算額（自主）7,625,000 円】

【決算額（自主）6,136,750 円】

(ア) 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝 金	122 件	計 268 件
見 舞 金	39 件	
弔 慰 金	107 件	

(イ) 入学祝・継続会員記念品の贈呈（5年継続、10年継続毎）

入学祝	172 件	計 528 件
5年継続	177 件	
10年継続	98 件	
20年継続	42 件	
30年継続	39 件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業 【定款第4条（7）関係】

【重点取組み事項】

- ・大田区産業プラザの指定管理者として、老朽化による施設の維持補修工事や大展示ホールの改修工事等により、効率的な施設の管理運営に努めるとともに、MICE推進に係る先駆団体との情報交換、情報収集を積極的に行った。
- ・危機管理面においては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底するとともに、施設利用者の安全を確保するため、災害時の迅速な初期対応を想定し、館内職員を対象とした避難訓練及び消火訓練等を行ったほか、計画的に飲食物や簡易トイレ等の災害備蓄品を追加購入する対策を施した。
- ・2階コワーキングスペース（biz BEACH CoWorking）の運営開始に伴い、既存会員へのサービスを継続しつつ、利用者の拡大・利便性の向上に繋げるため、貸し出し用モニター（無料）サービスを拡充したほか、大型モニターの設置等で産業情報の発信を強化した。
- ・ハイブリッド受発注プラットフォームの構築・拡大による、中小製造業のデジタル化促進・稼ぐ力の強化事業は、大田区、I-OTA 合同会社、株式会社テクノアと共に、デジタルツールの運用方法の検討や発注者・事業者へのプロモーション等を行った。さらに、デジタル化促進のため、支援スキーム・チェックリストの設定・専門員の選定のほか、大学・研究機関等との連携のあり方・方向性及び海外展開の方向性の検討や区内中小企業への情報発信等を行った。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【予算額 （利用料金） 160,888,000 円】

【決算額 （利用料金） 123,754,251 円】

コロナ禍における施設利用対策として、イベント等の主催者へ「感染拡大防止に向けた利用条件等」のガイドラインと「新型コロナウイルス感染症拡大防止確認事項」を周知徹底し、感染拡大防止に努めた。また、大展示ホールにおける特定天井の改修工事において、耐震強化と音響設備改修工事を実施したほか、小展示ホールにおいて照明のLED化を実施する等、施設利用者の満足度向上に努めた。

施設の災害対策として、館内職員を対象とした避難訓練及び消火訓練を行ったほか、新たに蒲田警察署と連携して不審者対応訓練を実施し、防災センターをはじめとする館内職員の危機管理意識と能力の向上を図った。



【大展示ホール】

令和4年度 産業プラザ施設利用状況 <別表A>

(ア) 展示ホール

施設名	前 半 9:00~14:00		後 半 14:00~19:00		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率			
大展示ホール (4月から6月)	58	58	58	58	100.0%	57,600
	100.0%		100.0%			
小展示ホール	345	207	345	225	62.6%	71,997
	60.0%		65.2%			
※大展示ホール令和4年7月から令和5年3月まで 特定天井改修工事のため使用停止			合 計 (1)			129,597

(イ) コンベンションホール・会議室他

施設名	午 前		午 後		夜 間		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率		利用率			
コンベンシ ョンホール	345	226	345	253	345	159	73.3%	91,905
	65.5%		73.3%		46.1%			
A会議室	345	261	345	282	345	175	78.9%	15,940
	75.7%		81.7%		50.7%			
B会議室	345	246	345	262	345	165	75.6%	16,520
	71.3%		75.9%		47.8%			
C会議室	345	235	345	279	345	140	72.2%	16,142
	68.1%		80.9%		40.6%			
D会議室	345	257	345	274	345	164	68.9%	21,413
	74.5%		79.4%		47.5%			
E会議室	345	233	345	262	345	143	65.6%	10,034
	67.5%		75.9%		41.4%			
F会議室	345	241	345	272	345	194	71.1%	8,379
	69.9%		78.8%		56.2%			
G会議室	345	234	345	280	345	158	63.3%	8,219
	67.8%		81.2%		45.8%			
特別会議室	345	204	345	235	345	138	63.3%	22,388
	59.1%		68.1%		40.0%			
和 室	345	189	345	248	345	175	62.2%	8,508
	54.8%		71.9%		50.7%			
					合 計 (2)		219,448	
					総合計 (1) + (2)		349,045	

施設利用収入状況 <別表B>

利用料金収入	119,736,475円
内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料： 82,145,077円 ・前年度収納分： 28,260,448円 ・駐車場利用料： 5,906,200円 ・コワーキング施設利用料： 3,424,750円

② 施設貸与に伴う付加サービス事業

【予算額 (自主) 4,555,000円】

【決算額 (自主) 2,400,029円】

施設利用者の利便性と、利用率の向上を図るため、イベントサポートガイドPi0 倶楽部及びPi0 周辺マップの発行、サイン看板等作成サービス、利用者用コピーサービス、催事ごみ処理サービス、トランシーバー貸出、特殊簡易公衆電話等のサービスを提供したほか、新たに2階コワーキングスペースにおいて、モバイルバッテリーのシェアリングサービスを開始した。



【事業紹介リーフレット】

③ 産業プラザ施設維持の管理運営

【予算額 (受託) 61,959,000円】

【決算額 (受託) 57,813,438円】

産業プラザは建築後27年が経過しており、協会では、受託業務の範囲での維持補修工事を適宜実施した。また、大田区発注の大展示ホール特定天井改修工事及び大規模改修工事基本設計委託が円滑に実施されるよう関係各所と連携・調整等を行った。

さらに、令和4年4月から総合相談窓口として開設した1階Pi0フロントにおいて、サイン看板やショーケーシング照明の設置などを適宜行い、利便性向上と事業のPRに努めた。

実施した維持補修等の工事

工事名	
<ul style="list-style-type: none"> ・冷却塔駆動部ベアリング交換 ・1階国道側自動ドアセンサー交換 ・特別高圧変圧器コロナ試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランス上部排煙装置電動駆動装置交換 ・1階防災センター誘導灯信号装置更新工事 ・各階誘導灯バッテリー取替工事
等 67 件	

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事等

工事名	
・大展示ホール特定天井改修工事	・大規模改修工事基本設計委託

④ ハイブリッド受発注プラットフォームの構築・拡大による、中小製造業のデジタル化促進・稼ぐ力の強化事業

【予算額 (受託) 39,600,000 円】

【決算額 (受託) 35,106,759 円】

ハイブリッド受発注プラットフォームの構築・拡大の推進に当たり、連携している大田区、I-OTA 合同会社、株式会社テクノアと共に、①デジタルツールの運用方法、②ものづくり相談者へのプロモーション及びものづくり事業者の加入促進、③大手発注者へのプロモーション、④海外展開の準備を行った。

さらに、中小製造業のデジタル化促進に当たり、①支援事業のスキーム・チェックリストの設定や専門員の選定、②大学・研究機関等との連携のあり方・方向性の検討、③区内製造業へのヒアリングを踏まえた海外展開の方向性の検討、④OTA デジタル×Pi0 の活用による区内中小企業への情報発信、普及啓発等の推進等を実施した。

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第34条第1項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

第1回	令和4年5月12日 出席理事 6人 欠席理事 1人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告について 令和3年度決算について 令和4年度補正予算について 定時評議員会の開催について
第2回 ※	決議のあった日 令和4年6月29日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第2次補正予算について
第3回	令和4年11月14日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 基本財産の運用について 職員の旅費に関する規程の改正について
第4回 ※	決議のあった日 令和4年12月6日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 職員の給与等に関する各規程の改正について
第5回 ※	決議のあった日 令和5年1月18日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第3次補正予算の承認について
第6回	令和5年3月28日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度補正予算について 令和5年度事業計画及び収支予算について 収1産学連携研究開発支援施設管理運営事業の廃止について 規程の改正について <ol style="list-style-type: none"> ① 職員の給与等に関する規程 ② 就業規則第19条第2項の規定により嘱託員として再雇用された職員の服務及び給与等に関する規程 ③ 非常勤職員規程 ④ 事務局の組織及び処務に関する規程 役員賠償責任保険の契約更新について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第37条に基づき、決議を行った理事会である。

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第18条に基づき、理事長が招集した評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

臨時 評議員会 ※	決議のあった日 令和4年4月28日 同意した評議員 7人	<ul style="list-style-type: none"> 役員（理事）の選任について
-----------------	------------------------------------	---

定時 評議員会	令和4年5月30日	
	出席評議員	6人
	欠席評議員	1人
	同席監事	2人
		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度決算の承認について

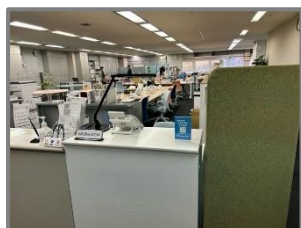
※公益財団法人大田区産業振興協会定款第21条に基づき、決議を行った評議員会である。

●評議員選定委員会

第1回	令和4年4月15日	
	出席委員	5人
	欠席委員	0人
		・評議員の選任
第2回	令和4年6月27日	
	出席委員	4人
	欠席委員	1人
		・評議員の選任

◆協会組織強化

アフターコロナ及び職員のコミュニケーション活性化を目的に、事務室のフリーアドレス化を実施した。合わせて来訪者に対して円滑で丁寧な案内を行うため、受付を設置し、職員を常時従事させる改善を行った。



【協会事務室レイアウト変更】

◆研修

協会内研修

研修名	開催日	対象者	目的	参加人数
セキュリティ研修	4月4日	新任職員等	協会のセキュリティ等について学ぶ。	15人
HANEDA×Pi0 研修	4月4日	新任職員等	HANEDA×Pi0の今後の展開について認識を深める。	11人
新任研修	4月5日	協会新任職員等、産業振興課職員	大田区の産業についての基礎知識と区産業経済部との連携、HANEDA×Pi0等の新たな事業展開について学ぶ。	19人
庶務事務研修 ワークフロー研修	4月6日	新任職員等	協会の基礎知識、会計、契約、文書、サービス、規程等について学ぶ。	12人
理事長研修	5月12日 5月16日 (同内容開催)	協会全職員	大田区の動向や財政状況について学ぶ。	49人
副理事長研修	5月24日	協会新任職員、産業振興課希望者	大田区の産業特性と産業振興施策について学ぶ。	30人 (協会19人)
創業者勉強会	2月8日 2月15日 (同内容開催)	協会全職員	Pi0フロントでの創業者支援相談件数が増加しているため、協会全体の創業者支援に対する知識を深める。	38人

その他、職層研修等は民間の開催する研修へ参加。